

# 春の法要のお知らせ

春の法要を下記の日程にて厳修いたします。尚、昨年地震・台風被害による境内建物の状況を鑑みて、報恩講同様、阿弥陀堂での内勤めといたします。阿弥陀堂は参拝人数に限りがあるため、団体参拝の募集はいたしません。個人でご参拝いただいた方にも、充分なご対応いたしかねますこと、どうかご容赦下さい。

どうぞ、ご理解、ご了承の程お願い申し上げます。

## 法要日程

### 4月11日(木)

8:00 晨朝勤行

10:00 朝座 興正寺第4世  
了海上人700回忌

13:00 昼座 親鸞聖人御誕生会

### 4月12日(金)

8:00 晨朝勤行

10:00 朝座 興正寺第12世  
性善上人550回忌

13:00 昼座 釈尊降誕会

◆全座阿弥陀堂にて厳修いたします。

「今こそお念仏——つなごうふれあいの輪」

本山だより

## アクセスマップ



真宗興正派本山興正寺全景

## 真宗興正派 本山興正寺

〒600-8261 京都市下京区堀川通七条上ル  
TEL 075-371-0075(代) FAX 075-371-8509

本山興正寺

検索

第54・55号  
合併号  
平成31年  
2月

## 教えて、テンマくん!

エントンくん



友だちに聞いてみたら、家にお仏壇がないところ結構多いねん。

まだ亡くなった人がいないからお仏壇がないっていうお家もあるわよね。



ケオンちゃん

お仏壇は亡くなった人がいるいないに関係なく、家庭の心の<sup>よりどころ</sup>帰依処として各家庭に置くべきものなんだよ。最近は仏間がない家も多いから、「普及型ご本尊」をお迎えして、お念仏のある生活をしてほしいね。



テンマくん

### 真宗興正派制定 普及型ご本尊



普及型ご本尊のお問い合わせは真宗興正派宗務所まで。

サイズ(mm)  
全体: 奥行100×幅200×高さ200  
(台座部分を含む)  
ご本尊: 幅20×高さ160  
冥加金 ¥28,000

※ご本尊以外の仏具は付属していません。

平成30年は、日本列島各地で自然災害が相次いだ年でありました。

興正寺も、6月18日朝に起こった大阪府北部地震、8月20日に紀伊水道を北上した台風20号、9月4日には京都に近いルートで通過した台風21号など相次ぐ自然の脅威にさらされ、建物や境内に甚大な被害が出ております。

## ◆大阪府北部地震による被害状況◆

大阪府北部を震源とするこの地震は京都市でも震度5強を観測し、境内や建物に大きな被害が出ました。



最も深刻な被害を受けたのは御影堂内陣の中柱。亀裂が生じ、南側に約11cm傾いています。この影響が梁にもズレが見られます。現在、応急処置として余間に足場を組んで補強しております、そのため御影堂は閉鎖されております。



御影堂を支える梁にも大きなズレが見られる。

その他、阿弥陀堂においても、壁面の剥がれ、指物のズレなどの被害が確認されました。

## ◆台風20号・21号による被害状況◆



まだ地震の傷も癒えない近畿地方に大きな被害をもたらした、台風20号。20号とほぼ同じルートで、より強い勢力で北上した、台風21号。この2つの台風でも、さらなる被害が発生いたしました。

御影堂の丸瓦や棟瓦の一部が吹き飛ばされ、台風通過後も、瓦の落下の危険があるため、御影堂周辺への立ち入りが制限されております。

また、猛烈に吹き付けた風雨で、経蔵の漆喰が



剥離してしまいました。この度の台風の風雨は相当激しいもので、阿弥陀堂の唐戸は引きちぎられるように飛ばされてしまいました。また、頑丈な南京錠で閉じられてい



た鐘樓の扉も、激しい風に破損してしまうこととなりました。

春には道行く人を楽しませてくれていた、七条通沿いの枝垂桜は根本から倒れてしまい、石灯籠も倒壊してしまいました。



表対面所には目を疑うような惨状が広がっておりました。雨戸が飛ばされ、吹き込んだ風雨でガラスが割れ、障子も破れ、畳は水浸しとなっております。表対面所も現在は立ち入りできない状況となっております。

これらの災害被害により、現在御影堂には立ち入りできません。また境内も立ち入りが制限されている箇所がございます。しばらくの間、皆様にはご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



## ○親鸞聖人御真影動座法要○



昨年6月の大阪府北部地震の被害を受けて、7月31日、御影堂の親鸞聖人御真影の動座法要が厳修されました。親鸞聖人御真影は、御影堂に立ち入りできるようになるまでの間、阿弥陀堂左脇壇に安置されております。

## 宗祖報恩講厳修

災害被害で御影堂へ立ち入りできないため、平成30年の報恩講は阿弥陀堂にてご門主、嗣法さま、内局、有志僧侶による内勤めという形ではありましたが、例年通り11月21日の初速夜から、28日の結日中まで厳修されました。



御真影の前で焼香されるご門主。



全座阿弥陀堂での内勤めで厳修された。



参詣者に挨拶する宗務総長。



行道中のご門主と嗣法さま。



内事報恩講も例年通り勤められた。



御供物講より献納された供物